

第6節 健康危機管理

保健所は地域における健康危機管理の拠点として、平常時から日常業務を通じ、健康被害の発生を未然に防止することに努めている。

健康危機管理研修・体制整備

1 所内健康危機管理研修

内 容：講義・実技訓練等
回 数：計 11 回（延べ 12 回）
参加者：通年 11 名～45 名

*第7回「感染症対策用陰圧式エアータン ト設置等訓練」

新型インフルエンザ等の感染症発生に備え、陰圧テントの取り扱いを学ぶとともに関係機関との緊急時における役割分担等の再確認を行った。

日 時：平成 29 年 11 月 9 日（木）
9:30～11:10

会 場：小松市民病院 車庫棟前
講 師：日本船舶薬品株式会社職員
保健所職員

参加者：管内医療機関職員、小松市・能美市消防本部職員、保健所職員
約 40 名

*第9回「小松市における災害発生時の初 動体制と連携について」

管内の災害時の体制整備の強化を図るため、市町の災害対策の基本や地域特性について学んだ。

日 時：平成 29 年 12 月 26 日（火）
11:00～12:00

会 場：当センター大会議室
講 師：小松市行政管理部防災安全センター
伊藤 覚 氏

参加者：管内市町職員、保健所職員
35 名

2 高齢者及び児童福祉施設における 感染症予防研修会

日 時：平成 29 年 10 月 6 日（金）
14:00～16:00

内 容：講演・実技指導

- ①「高齢者及び児童福祉施設、旅館等における感染症予防研対策～感染症の基礎知識、インフルエンザ・ノロウイルス等の対応について～」
- ②「嘔吐物処理の手技を確認しよう」
- ③「二次感染、三次感染を予防するために～集団感染にしないために～」
- ④「レジオネラ症発生防止対策について」

会 場：こまつドーム

講 師：やわたメディカルセンター
医療安全対策室 感染管理担当
感染防御実践看護師
佐分 稲子 氏
保健所職員

参加者：高齢者、児童施設職員、市町担当者等
237 名